

特集

メタボリック症候群と下部尿路症状

大垣憲司

医療法人社団総生会麻生総合病院泌尿器科

Key Words メタボリック症候群, 下部尿路症状, 前立腺肥大症, 加齢, 人種差

メタボリック症候群 (metabolic syndrome ; MetS) は「インスリン抵抗性, 動脈硬化惹起性脂質代謝異常, 血圧高値を個人に合併する心血管病易発症状態」と定義され, これらの危険因子の上流に共通の基盤として内臓脂肪蓄積の存在があると考えられている。下部尿路症状 (lower urinary tract symptoms ; LUTS) とは, 尿の貯留や排出に関係する症状を広く意味する用語で, 各個人が主観的に認知したものである。肥満は万病のもとと言うように MetS が LUTS と関連するという意見は泌尿器科医でも多いだろう。MetS が提唱されてから泌尿器科領域でも, その関連性が問われ多くの調査がなされている。

はじめに

メタボリック症候群 (metabolic syndrome ; MetS) は内臓脂肪型肥満を共通の要因として高血糖・脂質異常・高血圧を呈する病態であり, それぞれが重複した場合は心血管疾患・脳血管疾患などの発症リスクが高いため, 内臓脂肪を減少させることでそれらの発症リスクの低減が図られるという考え方が基本にある¹⁾²⁾。

下部尿路症状 (lower urinary tract symptoms ;

LUTS) は 2002 年の国際禁制学会の用語標準化報告において排尿に関する症状についての用語として提案された³⁾。従来の蓄尿症状と排尿症状とに, 新たに排尿後症状を加えた 3 種類の症状に区別され定義された³⁾。

通常, LUTS の評価には国際前立腺症状スコア (International Prostate Symptom Score ; IPSS) および QOL スコアが用いられる。以前より前立腺肥大症 (benign prostatic hyperplasia ; BPH) にともなう症状を定量化する試みは行われてきたが, 普遍的には至らなかった。1993 年米国泌尿器

Kenji Ohgaki